

公安委員会定例会議(第27回)の開催状況

第1　日 時 令和4年11月2日(水)
午後1時30分～午後3時30分

第2　出席者 五葉委員長、曾我部委員、佐伯委員
本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長
総務課長

第3　議事の概要

1 佐伯委員説示

本日は、学校現場における「人事管理」についてお話しします。

校長は、専権事項として校内人事を自ら決定できます。そして当該人事が今後の学校運営の決め手になりますので、私も頭を悩ませながら担任等を選任していました。また、選任後の人材育成にもしっかりと取り組む必要があり、私は教職員をいくつかのタイプに分類し、それぞれのタイプに見合った指導や育成を心掛けていました。

まず、大半の教職員が該当する「能力が高くて意欲もある人」は、放つておいても生徒を上手に伸ばして成果を上げてくれます。大切なのは適切な論功行賞と努力を褒めることです。

次に、「能力は高いが意欲のない人」は、学校にとって貴重な存在であることに変わりはないため、本人とじっくり対話をして意欲のない原因を探り、どのようにすれば本人のやる気を引き出すことができるかを考える必要があります。

最後に、「意欲はあるが能力があまり優っていない人」は、生徒に対する体罰を始め人事管理上のトラブルを起こす可能性があり、私としては一番問題があると感じています。こうした教職員は、物事に結果が出ない原因を自分ではなく他人のせいにし、おだてると有頂天になり、叱ると逆恨みする傾向にあるなど、かなり苦戦しますので、どうやって気分よく本来のあるべき姿で働いてもらうかが校長としての人事管理のポイントとも言えます。

学校現場における人事管理は、教職員にも生徒にも非常に重要であるため、校長が教職員一人一人と本音で向き合い、じっくり話を聞くことが遠回りのようで最善ではないかと思います。教職員が輝いているからこそ生徒が輝きます。教職員に適材適所で気持ちよく頑張ってもらえるように様々な面に配意することが大切だと感じています。

人事配置や人事管理は、いかなる組織においても適切に業務を推進していくために重要ですので、執務の参考にしていただきたいと思います。

2 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和4年第26回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

(2) 愛媛県情報公開・個人情報保護審査会への諮問

総務室から、愛媛県情報公開・個人情報保護審査会への諮問について伺いがあり了承した。

3 報告事項

(1) 令和4年度上半期における監察の実施状況

首席監察官から、令和4年度上半期における監察の実施状況について報告があった。

委員から、「指摘が繰り返される事項については、業務の進め方に何か問題がないかを確認するなど、きめ細かく業務の見直しを図っていただきたい」との発言があった。

委員から、「警察職員による非違事案防止の観点からも、引き続き、職員に対する教養等を充実させていただきたい」との発言があった。

(2) 金融機関等に対する特別防犯指導「C P P作戦」の実施

生活安全部長から、金融機関等に対する特別防犯指導「C P P作戦」の実施について報告があった。

委員から、「年末に向けて様々な犯罪が増加する傾向にあることから、引き続き、金融機関等に対する防犯指導や防犯訓練等を実施し、県全体の防犯意識の高揚を図っていただきたい」との発言があった。

委員から、「金融機関等において警察官の姿を見せる警戒活動を積極的に推進していただきたい」との発言があった。

(3) 殺人事件の発生検挙

刑事部長から、殺人事件の発生検挙について報告があった。

委員から、「早期に被疑者を逮捕できたことは地域の安全・安心につながる。引き続き、事件の全容解明に向けて適正な捜査を推進していただきたい」との発言があった。

(4) 暴力追放30周年記念県民大会の実施

刑事部長から、暴力追放30周年記念大会の実施について報告があった。

委員から、「毎年継続して開催することが価値のあることだと思う。

引き続き、関係機関と連携し、暴力団や銃器・薬物犯罪のない安全で明るく住みよい社会の実現に取り組んでいただきたい」との発言があった。

(5) パーキングチケットの廃止

交通部から、パーキングチケットの廃止について報告があった。

4 その他

(1) 警務部長から、10月31日に開催された全国本部長会議の開催結果につ

いて報告があった。

- (2) 生活安全部長から、10月31日に来県された杉良太郎警察庁特別防犯対策監による愛媛県警察の視察及び督励の概要について報告があった。
- (3) 生活安全部長から、ハロウィン当日の10月31日における繁華街周辺での各種事故防止対策等の実施結果について報告があった。
- (4) 交通部長から、10月30日に開催されたサイクリングしまなみ2022に伴う交通規制等の実施結果について報告があった。
- (5) 本部長から、「委員説示のとおり、人材育成や適材適所の人事配置に心掛け、警察職員一人一人が「人財」になるように入事管理を徹底してまいりたい」「警察庁長官が先日の全国警察本部長会議の場で『警戒の空白』への対応について訓示した。県警察としては、各種業務が安易な前例踏襲に陥らないように留意したい。」との発言があった。

以上